

## ◆「学界情報 国際会議レポート」の記事募集のお知らせ◆

産業応用部門ニューズレターにおいて掲載しております「学界情報 国際会議レポート」では、多くの皆様に国際会議をご紹介いただくことを目的とし、国際会議レポートを下記の要領で公募させていただくことになりました。皆様のご応募をお待ちしております。

**公募対象**：原則として電気学会会員とします。

**公募方法**：電子メールにて、下記送付先に数行程度の会議紹介文を送付してください。

**送付先(記事公募共通アドレス)**： iaedit(at)iee.jp

**掲載可否**：産業応用部門編修広報委員会で審議の上、掲載の可否をご連絡します。ただし、掲載原稿の著作権は学会に帰属し、文責は投稿者が負うものとします。

**掲載先**：産業応用部門ホームページ、または産業応用部門ニューズレター（ニューズレターは原則、1ページ）

**公募期間**：国際会議開催前、または開催後1ヵ月まで

## 編集後記

2011年も残すところあとわずかとなりました。今年は3月11日に発生した東日本大震災、9月の西日本における豪雨被害など大きな災害に見舞われ、夏場のピーク時の電力不足問題や安全安心社会の構築に関する多くの取り組みが行われました。また、昨年から続く世界金融危機や少子高齢化、環境問題などへの対策も引き続き問題になっています。このようなグローバルかつ緊急性の高い諸問題に対しては今後、我が国がイノベーションを先導していく必要があるでしょう。特に、革新的な省エネルギー技術、再生可能エネルギー利用技術、テラーメイド型の人間支援技術の開発などにおいて、電気学会が果たすべき役割はますます重要になってくると思われまます。

さて、今月号は琉球大学で行われた産業応用部門大会の大会報告を掲載しております。過去最高となる676件の論文が発表され、1,100人以上の参加者が集まったとのことで、セッション講演が盛況に行われた様子が伝わってきます。実行委員会をはじめ運営に携われた皆様、大変お疲れ様でした。

次回、千葉工業大学で開催される平成24年度産業応用部門大会ならびに金沢で開催される電気工学技術国際会議ICEEのご案内を掲載しております。多数の方のご参加をお待ちしております。

また技術開発レポートでは、日立製作所の宮田健治様に定常運転時の回転機特性を高速に解析する手法についてご紹介をいただきました。研究グループ紹介では、明治大学の久保田寿夫先生に電機システム研究室のご紹介をいただきました。学界情報では、東京工業大学の嶋田隆一先生に8月から9月にかけて英国で開催されたEPE 2011についてご報告をいただきました。

産業応用部門では来年7月より英文論文誌の発刊を予定しており、特集論文の募集も行われています。ぜひ会員の皆様からの積極的なご投稿をお願い致します。

年末ご多忙の折ではございますが、読者の皆様、お身体にお気をつけて良き新年をお迎え下さい。

最後になりましたが、ご多忙中にもかかわらず、記事をご執筆いただいた皆様、ならびに編集作業に携わっていただいた多くの皆様に厚く御礼申し上げます。

エディタ 桂 誠一郎（慶應義塾大学）

※ 本文中のE-mailアドレスをご利用になる場合には、“(at)”を“@”に置き換えて下さい。